

中国の模倣を防ぐ

知的財産保護により自社のブランド維持に努める企業

東京都板橋区の株式会社アタゴ(従業員112名、資本金9,600万円)は、1940年創業以来、屈折計等を開発・製造・販売する企業である。屈折計は、光の屈折を応用して、液体中に溶解している固形分(糖・塩等)の濃度を測定する機械であり、食品工業や石油化学、金属加工、臨床分野等の様々な分野で活用されている。1940年に創業、1950年に輸出を開始し、現在、欧米を中心とする8社の競合企業の中、先手必勝で「アタゴブランド」を浸透させることに成功し、国内販売市場シェア9割、世界販売市場シェア3割を誇る。

近年、中国で同社の屈折計の模倣品が多く出回って苦労した経験を踏まえて、機能性・操作性・デザイン性を追及した手持屈折計「MASTER」シリーズの開発にあたっては、中国用に金型加工が難しい形状を採用することで、模倣を防ぐ工夫を行っている。さらに、同シリーズを含む製品全般について、特許権は、日本、アメリカ、中国、韓国、他で計9か国とヨーロッパ、意匠権は、日本、アメリカ、中国、台湾、韓国の5か国・地域とヨーロッパで出願・取得しており、知的財産保護に万全を期している。



手持屈折計「MASTER」を用いて
液体中の濃度を測定している様子